

「意思あるお金」で、地域の夢を未来へつなぐ

地域の挑戦を、その先へ。2026年も続く九州の夢

～クラウドファンディングが動かした、その後のストーリーをご紹介～

株式会社グローバル・クラウドファンディング

▶ 今月は、クラウドファンディングをきっかけに始まった地域の挑戦が、その後どのような成果を生み出しているのかに注目します。熊本・八代の名勝庭園・松浜軒の長塀修復、鹿児島・南大隅町で進む南国フルーツのブランドづくり。挑戦の先に広がる「これから」を、九州発の2つのプロジェクトからお届けします。

文化財修復

熊本県八代市 | 国指定名勝「松浜軒」の長塀修復プロジェクト ～地域の誇りを未来へつなぐ、長塀修復の歩み～

寄附型 | プロジェクトオーナー：松浜軒長塀整備事業実行委員会

調達金額：約3,750万円 実施期間：2023年6月2日～2023年11月30日



八代城主・松井直之が1688年に建てた御茶屋「松浜軒（しょうひんけん）」。その象徴のひとつである長塀は、庭園と外界を隔てる役割を果たし、景観を形づくってきた大切な存在です。しかし、老朽化が進み、倒壊の危険が高まっていました。地域にとって見過ごせない課題となる中、国指定文化財の修復には専門技術と多額の費用が必要でした。「この風景を未来へ」その思いからクラウドファンディングによる支援を募ったところ全国から約700名の温かな応援が集まり、目標1,500万円に対し249%の3,748万5,000円の支援に繋がりました。

支援の力でよみがえった松浜軒

クラウドファンディングを経て進められた修復工事は、この冬、ついに完成を迎えました。12月3日には竣功を記念した内覧会と祝賀会が開かれ、多くの支援者の方々が新しい長塀を見守るように訪れました。

今回の修復は、単なる「建物の補修」ではなく、松浜軒が持つ物語や景観を未来へつなぐ取り組みでした。その一歩がこうして形になったことは、地域にとって大きな希望です。

修復前の長塀



以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、[松浜軒 入会手続き後、会員専用ページより](#)

アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

「松浜軒」観覧案内

修復された長塀は、今後となくともご覧いただけるそうです。四季の移ろいと大勢の皆さまの力で、松浜軒の歴史を未来へとつなげてまいります。

[会員の方はここから](#)